

# 環境分離菌 ケースファイル : Staphylococcus

## *epidermidis* [Lauricae Kundrat](#) 2016年1月28日

表皮ブドウ球菌は、腋窩、鼻孔および足指網などの湿った体表面に定着する。通常、無害な種である表皮ブドウ球菌は、正しい状況下で臨床疾患を引き起こす可能性があります。素因には、免疫抑制およびカテーテルなどの医療機器の存在が含まれます。微生物は人間の皮膚の共生物であるため、人間がいた場所によく見られます。表皮ブドウ球菌は、使用済み化粧品から、そして環境モニタリング中に収集された寒天プレート上で単離されました。



### 外観 :

表皮ブドウ球菌は、通常ペアまたはテトラッドで発生するグラム陽性球菌から構成されます。この種はコアグラーゼ陰性であるため、CoNS (Coagulase Negative Staphylococcus) と呼ばれる微生物のグループに属します。

### 増殖条件 :

表皮ブドウ球菌は、通性嫌気性であり、そして 15°C~45°Cの増殖温度範囲を有します。しかしながら、この種は好氣的条件下で 30~37°Cで最もよく成長します。

### 生息地 :

人間の皮膚、粘膜、鼻孔に存在します。時折、他の哺乳動物の皮膚に見られることがあります (多くの場合、これらの哺乳動物は人間の近くに住んでいます) 。

### 病原性 :

表皮ブドウ球菌は日和見病原体であり、院内感染の頻繁な原因菌です。それは、尿路感染症および創傷感染症、ならびにカテーテル、人工血管移植片、人工関節、および心臓装置などの留置医療機器の感染症に関与しています。病気の可能性を増大させる要因は、免疫抑制、抗生物質耐性遺伝子、医療機器の存在、そしていくつかの株が医療機器上にバイオフィルムを形成する能力である。バイオフィルムは、内部の細胞を抗生物質や宿主の免疫反応から保護するのに役立ちます。

### 汚染の可能性 :

表皮ブドウ球菌は、医療機器の挿入中に導入することができます。それは消費者によって使用されてきた化粧品に見いだされました。表皮ブドウ球菌は、日常的な環境モニタリング中に単離されており、無菌医薬品の試験中に無菌性障害を引き起こしています。

### 分類 :

Staphylococcaceae、属 : Staphylococcus

### References:

**Brannan DK, Dille JC.** (1990) Type of closure prevents microbial contamination of cosmetics during consumer use. *Appl Environ Microbiol.* 56: 1476–1479

**Campana, R. et al.** (2006) Microbiological study of cosmetic products during their use by consumers: health risk and efficacy of preservative systems. *Lett Appl Microbiol.* Sep;43(3):301-6.

**FDA.** (2013) MedicalDevices/Safety/AlertsandNotices/PublicHealthNotifications <http://www.fda.gov/MedicalDevices/Safety/AlertsandNotices/PublicHealthNotifications>

**Lundov, M. D. et al.** (2011) Creams Used by Hand Eczema Patients are often Contaminated with *Staphylococcus aureus* *Acta Dermato Venerologica.*

**Otto, M.** (2009) *Staphylococcus epidermidis* – the “accidental” pathogen. *Nat Rev Microbiol.* Aug: 7(8): 555-567.

**Schleifer, K.H., Bell, J.** (2009) Family VIII fam. nov. Genus I. *Staphylococcus* In *Bergey’s Manual of Systematic Bacteriology* (2nd ed., Vol. 3, pp. 392-421). New York: Springer.

Microbiologics 社 BLOG を翻訳しております。原文は下記リンクでご確認できます。※日本語訳は原文解釈の参考としてご利用下さい。

<https://blog.microbiologics.com/environmental-isolate-case-files-staphylococcus-epidermidis/>

ご不明点、ご質問、製品のお問い合わせに関してはレーベン・ジャパン株式会社までお気軽にお問い合わせ下さい。

**レーベン・ジャパン株式会社** 埼玉県越谷市川柳町 3-110-8

TEL : 048-961-1781 FAX : 048-961-1782

メールでのお問い合わせ : [info@raven-japan.com](mailto:info@raven-japan.com)

Microbiologics 社製品紹介 URL : <http://raven-japan.com/>